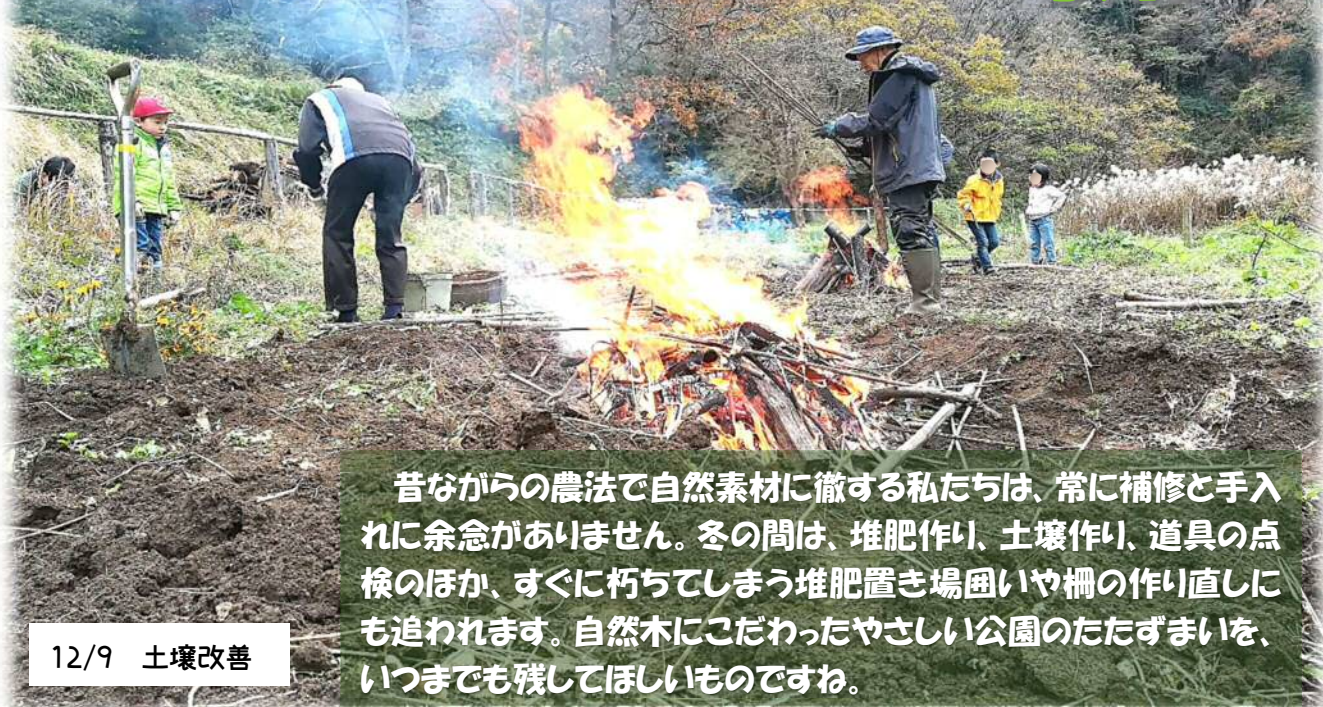




本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多様な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

農閑期はメンテナンスの時期です



昔ながらの農法で自然素材に徹する私たちは、常に補修と手入れに余念がありません。冬の間は、堆肥作り、土壌作り、道具の点検のほか、すぐに朽ちてしまう堆肥置き場囲いや柵の作り直しにも追われます。自然木にこだわったやさしい公園のたたずまいを、いつまでも残してほしいものです。

12/9 土壌改善

お知らせ & 谷戸往来

春の七草・どんと焼き

1/14(月・祝)13:30~

場所：野外生活体験広場

引換券の頒布 13:40

火入れ 14:00

団子、七草粥は数に限りがあります。



お椀とお箸をご持参下さい

各種研修受け入れ

神奈川県職員(10月~12月 班活動・体験学習参加 5回) 3名

鎌倉市職員 (11/27 協働研修講座 12/10 活動参加) 6名

かまくら認知症ネットワーク 12月9日 かまくら散歩 32名



12/10 鎌倉市職員研修

間伐材の頒布

保全活動による間伐材が、有効利用を目的として、鎌倉市公園課から頒布されます。

(鎌倉市 HP 参照)

自然だより

～ 生態系から見た里山の手入れ 谷戸のカヤネズミ その2 ～

●**毎年変動する巣の数** ホタルやアカガエルの卵と同じく、カヤネズミの巣の数も年によって多い少ないがあります。年により2倍以上の増減があるようです。およそ2年サイクルのような気がしますが、5～10年単位で考えないと本当の増減はわかりません。2008年からは「日本自然保護協会」を通じて、調査データを環境庁へ報告しています。10年位前は1個しか記録できない年もありましたが、2014年以降は5～10個以上記録できる年もあります。調査人数が増えたことありますが、20年前の数に戻りつつあると感じています。

●**山崎の谷戸には、5～6箇所（5～6家族？）に生息** 場所別に現状を報告します。**1.東谷沖**（梅林手前のオギ原）：昔から必ずカヤネズミの巣が見つかる場所で最も安定しています。**2.本田周辺**：かつては田んぼに巣が多く見つかりましたが、近年は少なくなっていました。6年前から「NPO 法人森びとプロジェクト」のみなさんと、荒れた湿地を手入れしてオギ（ススキに似た植物）の生育を改善した結果、巣が見られるようになってきました。**3.野外体験広場周辺**：最近巣が多く見つかるようになりました。昆虫や野鳥のため刈り残してあるチカラシバや、水路近くのササに巣が見つかります。巣が増えることを期待してササの手入れを工夫しています。**4.小段谷戸**：毎回ではありませんが、時々巣が見つかります。**5.炭焼小屋下の湿地**：昔からオギやススキに巣が見つかる場所でしたが、最近減少傾向です。湿地のオギの衰退と関係があると思われる、オギ原の手入れ（ツル、枯れ草の除去、日照確保など）をさらに励む必要があります。**6.ししいし周辺**：かつてはチカラシバやオギに巣が見つかった場所ですが、最近は見つかりません。数年前から湿地の手入れを始めており、巣の復活を期待しています。

●**絶滅しやすいカヤネズミ** カヤネズミは山崎の谷戸の中でも限られた場所で暮らしています。湿地のオギやチカラシバがなくなっただけで絶滅してしまうでしょう。市内のある緑地では、数年でカヤネズミが絶滅してしまいました。今から思えば、わずかなオギ原の範囲で暮らしていたので、オギの刈り方の微妙なよし悪しがもろに影響したのかもしれない。周囲を住宅地に囲まれた狭い谷戸（里山）で、生きものを守る難しさをカヤネズミが象徴しているように思えます。これからも、調査（モニタリング）を継続しながら湿地の保全作業を続けていきたいと思えます。

体験学習

（深沢小5・脱穀）5年生になって谷戸が始まってから今までやってきて、始まったすぐの時と全然ちがうなと感じました。そして、やるたびに、いろいろ初めて知ることがあったので、すごくおもしろかったです。

（富士塚小5・脱穀）前回ほしたいねをまず「足ふみだっこくぎ」「ふるい」「千歯こぎ」「とうみ」のじゅんばんで米をとってきました。足ふみだっこくぎはこわかったけど一番たのしかったです。



（深沢小5・脱穀）

（教育支援教室ひだまり・収穫祭）自然の中で料理をすることがあまりないので、新鮮で楽しかったです。みんな協力して作ったふかしくもいもづるは、とてもおいしかったです。今度家でも作ってみようと思います。



（富士塚小5・脱穀）

（富士塚小5・収穫祭）お米はとってもおいしくて、おみそするものすごくおいしい。とくにお米は自分たちでいっ生けんめいにやったのでとてもおいしく感じました。

体験学習の予定

小坂小 5年 1/21、3年 1/23
教育支援教室ひだまり 1/15、2/26
深沢中 2/21、玉縄中 2/25

各班のお知らせ


田んぼ班

刈り時に感じた大束の重みの通り、お天気とみなさんの骨折りのおかげで豊作でした。もち米(喜寿もち)は昨年並みでしたが、うるち米(さとじまん)は4割り増しでした。粒も揃っており、おいしいお米ができました。

畑班

昨年は大根、長ねぎなどが立派に育った一方で何故かたのくろ豆だけ不作でした。谷戸まつりもきなこはなく醤油餅だけに。新年は堆肥作り、荒おこし、そして早くもじゃがいも畑の耕しをします。



 12/9 里山探検隊

植物育成班

セイタカアワダチソウとカナムグウを田んぼに沈めました。乾燥した湿地に多いため、水が多い所では朽ちていくはずですが、どうなっていくか楽しみです。ヒガンバナの手入れにも力を入れていきます。


生態系保全班

堆肥置場にカブトムシの幼虫が何匹もいました。手入れをした成果です。カエルの産卵場所の整備も行いました。ほどよい整備を毎年行うことが効果的なようです。産んでくれると期待しています。

雑木林管理班

今年の間伐作業も「明るい森にする」をテーマに、常緑樹を中心に伐採を行います。去年伐採した場所は、いろいろな実生が育っており、どのように森が変わっていくか、2~3年後が楽しみです。



 12/2 間伐作業


自然遊び班

小麦畑の畝間に堆肥を撒き、次の堆肥用に落ち葉かきもしました。道具の熊手が大人気でした。★二毛作の畑に肥料をまいた。方法がバケツリレーというのがたのしかった。(小4)

農芸班

2週間干された大根は、Uの字に曲がるくらいまで水分が飛びました。米糠や塩のほかに、柿・りんご・みかんの皮を加え、自然の香りと甘味がいっぱいのおいしいたくわんとなるでしょう。



 12/19 たくわん漬

1月

- 6日 (日) 田 藁切り、土ふるい
 雑 雑木林の調査・測定 ☆
- 9日 (水) 畑 畑の整備・麦踏み・堆肥作り ☆
- 13日 (日) 田 粃殻くん炭・堆肥切り返し ❀
 雑 竹の伐採 ☆
 自 里山探検隊

14日 (月・祝) 春の七草とどんど焼き

- 20日 (日) 田 粃殻くん炭・堆肥撒き ☆
 畑 荒おこし
 雑 間伐材整理 ❀
 青空自主保育にこにこ会保全活動
- 27日 (日) 田 粃殻くん炭・堆肥撒き ❀
 畑 じゃがいも畑の耕し ❀
 雑 園内整備
 生 アシ原の野鳥を探そう ❀
 講座「雑木林の観察」 ☆
 青空自主保育なかよし会保全活動

2月

- 3日 (日) 田 粃殻くん炭・苗床耕し ❀
 雑 雑木林の除間伐 ☆
 自 里山探検隊
 試食の日
- 6日 (水) 畑 畑の整備
 農 クサギの草木染め ❀
- 10日 (日) 田 粃殻くん炭・畔直し ❀
 畑 畑の整備
 さつまいもの苗床づくり ☆
 雑 木障切り ❀
 講座「炭焼きの今昔」 ☆
- 17日 (日) 田 畔直し
 畑 畑の整備
 雑 雑木林の除間伐 ❀
- 24日 (日) 畑 畑の整備
 雑 雑木林の除間伐
 生 森の野鳥を探そう ❀

3月

- 3日 (日) 田 道具の手入れ ☆
 畑 道具の手入れ
 うどん作り ☆
- 雑 山作業道具の手入れ ☆
 自 父と子の里山体験 ▶
 「竹でお椀と箸づくり」
 講座「谷戸歩き」
- 10日 (日) 田 畔・水口直し
 畑 じゃがいもの植付け ❀
 雑 雑木林の除間伐 ❀
- 17日 (日) 田 畔・水口直し
 畑 畑の整備
 雑 雑木林の除間伐
- 20日 (水) 植 新芽の観察 ❀
- 24日 (日) 雑 間伐材の活用 ❀
 生 ウグイスのさえずりを聞こう ❀
- 27日 (水) 畑 畑の整備

☆ 谷戸塾 ❀ 里山一日体験 (要予約)
 ▶ 4歳～ 会員以外の方 参加費 500円/組

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班 農：農芸班
 自：自然遊び班 生：生態系保全班 植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667

鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時～16時

ホームページ : <http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス : ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

